

(当時どう思っていた?)当時どう思っていたかという、まず全体学習をするっていう意味で言うと、やらされとの一言で終わってしまうし、抽出学級っていうか、中心になって授業する学級に関しては、公開処刑としか思っていなかったし、そこまでせんといかんものなの?それは、人権問題云々の話ではなくて、全体学習というものをそこまでせんといかんのか、わざわざ時間を割いて、机やイスを運んで、そこまで手間暇をかけてせないかんもんなんか、だったらもっと違うことをしたらいいんじゃないの、効率的じゃないんじゃないのって、その当時は思ってたし、たぶんそれが自分だけじゃなくて、他の生徒もそうだったから、ものすごい空気が重かったよね。全体学習全体が。もちろん先生は周りで、遊んぶよるやつがおらんかとか、寝よるやつがおらんかとか、そういうのも含めたくえで周りにいっぱいおったんかもしれんけど、生徒の立場からしたら、なんでこんな重たい空気の中、こんなしんどいものをせなあかんのんっていう、そこにしか意識は行ってなかった。その当時は。

(1・2・3年と全部あった?)あった。

(学年ごとで意識が変わっていったっていうことはない?)そうね、慣れの部分はあるのかもしれない。1年生でこの間までランドセルしょっていた人間が、いきなり3小学校集まって、知らん人間ばかりの状態できなりやれって言われると、やっぱり3年間、1年生から2年生経って知ってる人間、仲いい人間がいろいろ変わってきたなかでの話っていうのと、やっぱり自分の環境も違うし、中学の間の3年間ですごい自分が形成されるっていうのは、やっぱり1年違うと全然違うと思うんよね。1年前の自分と今の自分とでは全然違うと思うから、そういう意味では、向き合うことに関しては素直になれた部分もあるだろうし、引っ込み思案で言えんかった子が急に言えたのはあったかもしれん。だから1年生の時にしゃべれた子は基本3年生でもしゃべれたと思う。けど、3年生になってやっと初めて発言できた子っていうのは、そういう類やと思うんね。何て言ったらいいのかなあとか、自分の意見言っているかなあ、合っとなかなあとか、そう面も含めて、いろいろそれ以外のことを考えよる子っていうのは、絶対あの場では発言できんだろうし、それが2年生経って中学3年生になって、場慣れした部分があれば、周りの環境が変わったのもあって、ちょっと発言してみようかとか、自分と向き合って、いや自分は

こう思うんやけどっていうことを言えるようになったっていうのはあるから、3年間通して意識が一緒かって言われたら、一緒ではない。ただ、一緒の部分で言えば、真ん中にだけは行きたくないなど。そこは3年間持ち続けたけど、でもそれは正直、今思えば、担任にもあったんじゃないかって思う。ぶっちゃけて言うと。その当時は思わなかった。自分のことしか考えてなかったから。けど今その情景を思い浮かべたときに、少なからず、先生やって人間なんやから、そんなんしたくないだろうし、したいっていう先生もおるかもしれんけど、どうせだったら周りで見ときたい。その分気が楽だし。だから、先生自身も、少なからずあったん違うかなって。ただ、胸張って否定できる人はおらんと思う。耳の痛い話かもしれんけど。やっぱりそこを見とる。見とるって言うか、無意識のうちに感じとつとる部分はあったんと違うかな。だから3年間を通して担任の先生も変われば周りも変わるから、自分という人間自身も変わるから。まあ、最後の方はあんまり嫌ではなかったよね。(慣れみたいな感じ?)そうそうそうそう。

(振り返ってみてどう?)まず結論からずばり言うんだけど、まずあの形態の授業っていうのは、逆にせんといかんことやと思う。それは何故かという、全体学習で、人権問題?部落問題?いわゆる道徳っていう教科をピックアップしとるわけやけど、じゃああの授業っていうのは、道徳に関して語り合う授業なんかって思うわけ。何が言いたいかっていうと、あんだけの人数の中で、あんだけの緊張感の中で、発言できる自分の強さを見つけ出す授業じゃないんかって思うわけ。それが、正直な話、国語・算数・理科・社会でもいいと思うんよね。でも、それをなんでせんのかっていうのを、自分で考えたときにね、国語・算数っていうのは、正直理解能力が出てくるよね。得意な人もいれば苦手な人もおる。得意な人が解けるのは当たり前。苦手な人は余計に発言できなくなってしまふよね。分からんのやから。じゃあ人権問題、道徳で考えたときに、それは永遠の課題やとワイは思ってるから。ましてや、明確な答えがないよね。差別はダメです、それは当たり前なのよ。ただ、どういう過程でダメだと思うのか、そこのプロセスっていうのは、人それぞれ考え方が違うと思うのよ。人を傷つけたらいいかんのはアホでも分かる。幼稚園の子でも分かる。叩かれたら痛い。傷つけられたら辛っていうのは幼稚園の子でも分かるけど、そこに行くまでの過程が中学生になってくると、みんな違うと思うんよね。辛いレベルも違うだろうし。その中で発言を誰かがしたときに、「いや、それもそうかもしれんけど、自分はこういうこともあって、

だからダメだと思うんだ」って、比較的発言しやすい問題やと思う。だから相互関係じゃないけど、道徳っていう教科と、全体学習の大勢の前で発言できる場を持つていうのは、相互に関係し合っていて、そういう強い自分を持てる、かなりの緊張感だと思う。ましてや小難しい年ごろだし、中学校っていうと。そのなかで、その当時板中でいうと、百何十人、5クラスあったから、ワイの学年だったら。百何十人の中で、たった一人で発言できるっていう、その経験はデカイと思うし、してる人してない人では全然レベルが変わってくると思うし。自分が分かってないと発言できないわけだしね。それに加えて、他の人の意見も吸収できる。明確な答えがないから。こう思わんとダメですっていうのがないやんね。だからそれで刺激も受けれるし、発言も促せられるし。それで永遠のテーマってさっき言ったけども、そういう形で語りあえる、道徳に関して、人権に関して語り合える場っていうのが、本来の全体学習のあり方というか、根本的なコアの部分じゃないのかなっていうのが、今自分が思うこと。28、もうすぐ29だけど、になって思うこと。その当時は、結局道徳にしか目が行ってないわけね。生徒からすれば。部落問題だったり、いろんな差別だったりとか。そこにしか意識が行ってないけども、卒業して十何年経って、あの場で発言できたことっていうのは、すごいプラスになるわけよね。仕事にしても、プライベートにしても、堂々と発言できる。あの場で発言できとんだったら、十人二十人の前で話すんなんで何てこともないし。緊張感もそうだし、冷静に自分の意見を言える。今こうやって録られよんもそうだけど。あのとき発言できてない子っていうのは、この録られよんっていう緊張感だけで、しゃべれんくたと思う。だから、そこを理解してる子、理解して受けてる子っていうのは絶対おらんと思うし、その当時ね。リアルタイムで思ってる子っておらんと思うし、先生としても、そこに意識をもっていってくれとったんかって思うわけよ。人権問題だから、道徳だから、真剣にやれよ、それただの押しつけだし、「いや、それよりまず高校受験でしょ」って、その当時だとそう思うわけよ。でもそうじゃなくって、あそこで発言できとったら、高校受験の面接なんて屁でもないと思うよ。極論を言えば。じゃあ、先生もそういう二面性がある、人権問題も学べて、そういう場で発言できる強い自分じゃないけど、自分の意見がこうだとハッキリ言えるっていう人間形成ができるっていう二面性を分かったうえで、あの場に立っていた先生が何人おるだろうって思う。だから今全体学習っていうのが薄れていってるのか、濃くなっていってるのか、それは知らんけど、もし薄れ

ていっきよんだったら、その当時の先生たちの、その思いついていうのは、その二面性に気づいてなくって、ただ義務としてやらされてたんじゃないの、先生の方もって思う。

高校に行ったときにクラスの前で、教卓のところで一人で立ちって、サイコロ振って出た目のテーマに応じて5分間話せっていう授業があったんだけども、全然屁でもなくて。その場で考えて、その場でしゃべらんかんのかやけども、その場の緊張感で言う、絶対あの時の方がしんどかったし、言いづらいつい雰囲気だったし。だから、そういう意味で、会社に入つてね、プレゼンするとか、何か発表せんかんとか、そこにも役に立つわけだし。自分は高校でもそういうスピーチがあったから、余計にそういうふうにするんだけど。だから全体学習の二面性っていうのには自分はこじつけとるだけかもしれないけど、でもそう思う。今思えばね。だから中学入ったとき自分が思ってたことって、なんでこんなせなあかんのって。道徳じゃなくって、全体学習って、なんでこんなせなあかんのって思ってたって最初言ったけど、そこに関しては一緒なんよね。道徳っていうのは、教材じゃなくって、生まれたときから始まるわけじゃない。仲間はずれにされたら辛いでしょ、だからみんなで仲良く遊ばないかんのかのよって親とか近所のおばちゃんに教えられて、小学校に入って道徳の教科書ができて、結局それは小っちゃいころからの積み重ねだから、中学校で道徳することに関しては何も思わないわけ。あって当然のもんだし、大事なもんだっていうことは理解しとるわけ。でも、全体学習に関して、人前で話をする、自分の意見を言えるようになる、っていうことに関して、小学校も、まあ幼稚園は難しいかもしれないけど、小学校の高学年くらいから続けてやれよって思つとる。子どもの数が少なくても、今板野やって少ないけど、じゃあ上板や藍住を巻きこんで何かしようよって思う。グループで何かしようよって思う。別にそこに結論を出すことが目的なんじゃなくて、そこで語り合えるっていうことが大事やと思うし、それを通じてしかできん横のつながりっていうのがあると思うから、そこを小中一貫教育じゃないけど、何か今学校でもよくそんなん謳いよるけど、そこが大事なんじゃない？だからそれをするによって、中学校とかの一番大切な3年間行う全体学習がホンマに意義のあるものになるんじゃないのって思う。もちろん性格はあるよ。言えん子、引つ込み思案な子あるし。でも今より、今というか、その当時のワイやのときよりもそれを小学校のときからされとったら、もっといいものになつたと思うわけよ。それを、高校に入つたときに気づけた。

そのスピーチの授業のときに、自分は屁でもない。テストの点数は悪くても、そのスピーチの点数は無駄に点数が良かった。いや、ホンマに先生に言われたけど、お前は2年生やけど5年生のスピーチの授業できるって言われた。だから結局そこが、気づけたから今の自分がおるわけだけど、こうやってクチャクチャしゃべれるけど。

今の社会見てもそうだよ。自分の意見言えん子っていうのが多い。自分の意見が言えんから、人に言われたことばかり飲み込んで飲み込んで。それに対して自分の意見が言えんから最終人刺すんじゃ。何かに訴えるわけでしょ。誰でも良かったって言って人傷つけるわけでしょ。それが、全体学習っていうか、全体学習だけじゃなくて、グループで語り合う、自分だけじゃなくて。周りで語り合うっていうのができてないから、本当の意味でできてないから、今そういう社会になつとんじやないって思う。だから、ワイは気に食わんことがあったら、良くも悪くも言うし、上司に対してハッキリ。それおかしいんじゃないですか。おかしいからおかしいって、そら根拠はもっとかないかんけど、言いがかりになるから。でもそれは言えるし。もしそれで煙たがられても、自分は間違っていないって胸張って言える自分がおる。それは、全体学習とかスピーチの授業を通して、自分の意見をきちんと言えるようになるっていう、そのコアの部分、間違っと思ったとしても、自分はそう思えるから。だから、そういうふうに戻ったときに、こういう面もあったんだって思えるし、だから重要なことじゃないのって思える。

これもさっき言ったけど、じゃあなんで道徳なのっていうたら、明確な答えがないし、みんな人それぞれだよって。けど結果は一緒じゃん。そこに行くプロセスに、こういう考えの人もおるんだ、こういう考えの人もおるんだって、自分にプラスになるし、逆に反面教師にする部分もあるだろうし。先生が言ったことを吸収するんもあるし、先生も生徒の言ったことに対して勉強になることもあったかもしれん。だから、そういうふうにグループで語り合う、人権問題、生徒、先生っていう4つの面が相互に関係しあつとる、矢印が全部に向きあつとるような状態にまでもっていくと、結局やらされよるで終わる。先生が、まず心を開いてそこを理解したうえで、生徒に対して心を開いて授業せんと、誰が心開いて授業受けてくれるのって思うよね。反抗期で、小難しい時期で、みんな家庭の事情もあつて、だからそういう面で板野はそういうのはなかったと思う。人数が少なかった、それもあるかもしれんけど、逆に先生と生徒がすごく仲良かったと思う。良くも悪くもね。ワイなんて吉成先生

のこと吉成先生って呼んだことないし、そういうふうには先生と生徒の枠を超えて関係っていうのが、その当時の板中っていうのはすごいできとったと思う。だから受け持ってもらってない先生でも、みんなの名前覚えとったじゃん。現に。じゃあ今それがあるのかって言われたら、そうでないだろうし。先生だって、これを言ったら保護者から何か言われるん違うかって、ほこでビビってビビってして心開いてないでしょ。ホンマはこやって言いたいんだけど、これ言ったらまた何か言われるかもっていうか。もちろん親も悪いんだけど。先生が悪いんでないんだけど。でも結局先生も心開いてないでしょ。生徒に対して。心開いてないから生徒の心も開けんでしょ。そんなんでも全体学習しても時間の無駄。そんなんだったら受験勉強しなさいって、ワイは思う。すごい大事なテーマだと思うし。だからそういうのも含めて小学校とかで、別に学年1クラスで少なかったら5・6年生でもいいと思うし。結局中学校で一緒になるんやから。だからそういうのを含めて、巻きこんでやっていけるような環境とか、やっていける雰囲気をつくってほしいなと思う。あの当時のやり方をそのままやるんだったら、何の進歩もないわけでしょ。何のためにもなってないわけだから。そこで気づいたら、そういうふうには思えとる人間、じゃあ150人いたとして、150人中の一人がここにおるわけ。それを2人にしたり10人にしたり20人にしたりって増やしていくんは、絶対何かその時代に合わせた進化をしていかんと、ただの古くさい授業で終わるわ。ワイやのときはほれで良かったし、自分自身は気づけるとからそれで感謝はしとるけど。でもそのスピーチの授業がなかったら、そういうふうには思えとるかって言われたら自信ないし。全体学習に戻って考えることはできんかったかもしれん。だからワイは、人権問題云々、部落問題云々よりも、そっちに今、あの全体学習の意味っていうのを感じてる部分っていうのがある。(自分を表現するとか、今コミュニケーション力が低下しとるっていう言い方をするんやけども、その重要度が高かったんでないんだろうかっていうこと?)そう。むしろそっちの方がでかいんじゃないって思う。逆にそれがないと、どんだけ道徳考えたところで、何も変わらんよって思う。だって、自分が、差別がこうだ、部落問題はああだこうだって思っても、人それぞれなんだから、高校行って、大学行って大人になってね、部落はこうじゃって、その当時の部落差別の意識持つて人って、正直まだまだおるよ。そうなったときに言えんわけじゃない。いや違うよって、こうなんだよって。言えんでしょ。だから、コミュニケーション能力だったり自分の気持ちの表現力だ

つたりの能力をつけたうえで、部落問題をしたら。一人が一人を説得したら、100人がしたら200人になるわけじゃない。差別をせん、ダメって思う人間が。でもそれが今ないから、残つとると思うわけ。部落問題だけじゃないよ。インターネットだったりいろいろ形は変わってきよるけども、だからその基礎ができてからそこに移って行ってほしかったなって。目先の、差別はダメ、人を傷つけるのはダメって、それは当たり前のことだから、小学校の時から教科書使ってやってきとんやと思うよ。でもコミュニケーション能力は、それを養う授業ってある？その当時、ワイがおったときの学校現場であった？って思うのよ。国語で偉いさんが書いた本読んで、このときの作者の気持ちがどうのこうのって、そんなん作者にしか分からんじゃん。でもそれが国語だったじゃん。高校に入ったときにそのスピーチの授業したって言ったけど、その教科の名前は国語じゃないよ。日本語だよ。国語ではありません日本語ですって。国語をしても何の意味もない。でも日本語を勉強するっていうのは、これからお前らが社会に出たときに役に立つから、日本語を勉強するんじやって。ああ確かになってそのとき思った。太宰治、それが何なんて。吾輩は猫である、ほんなわけないやんて。正直国語って、そういう位置づけ。だから、もっと国語のあり方というか、道徳の授業でもっとスピーチとかやっていったら、そこが積み重なって行って、場慣れ？自分が思ったことを人に伝えることの難しさであったり、大事さをまず理解してから全体学習とかしたら、ものすごい意義のある授業になると思うんよね。(授業のあり方を変えてみたらどうかって言うことかな？)そうそう。全体学習云々から入るのではなくて、全体学習は大事なことやし、それは絶対外せんことではあるんだけど、それをより意義のあるものとするために、もっと活発な意見を出させるために、どうぞ言ってくださいではないわけよ。引っ込み思案な子に、100人も200人ももの前で、あの緊張感の中でいきなりしゃべれって言われてもしゃべれるわけないじゃん。だから、意見を出るようにすることが第一なんじゃないのって、意見を言うようにするのが第一なんじゃないのって。中学校3年間で、3年間全部全体学習せんでもいいと思うん。正直な話。1年生から2年生の2学期ぐらいまでは、スピーチだったり何だつたりの練習とか、そんなんをして、意見をみんながある程度言えるようになってから、2年生の3学期に初めて全体学習やって、3年生の2学期にやって、別に2回でもいいと思うよ。無駄に3回も4回もするよりも、中身の濃い授業を2回した方が、絶対ためになると思うから。でもそれは、先生も、その当時の先

生も、義務としか思っていないと思うわけ。板野はこういう風習があるんだな、だからせないかんのんだな、緊張するし嫌だけでしょう。だからみんな黙らんといてよ。だからみんな何か意見言ってよ。内心そんなことしか考えてなかったと思うよ。あの当時の先生たちは。だって生徒だって意見の言いようがないんだもん。あの緊張感の中でね。だから今思い返せば、そのとき意見言った子っていうのは、先生思いのめっちゃ頭のいい子か、それこそめっちゃめっちゃ悪そしよった人間かのどちらかしかないじゃん。極端な話で言うと。まあここで実名出すのは伏せるけど。けど一番最初に言うのは、頭の賢い子。これ言わなんだら授業が進まんとか、先生が困つとるとか、そういうふうに見える子。トンボ学生服を着とる子よね。そのあとと言える子っていうのは、ラッパじゃドカンじゃ、その時でいえばルーズソックスじゃヘチマじゃ、ほんなんしとる子が、だいたい髪が黒でない子が言い出す。でもその子らもなんでかっていうと、誰かが先駆けとして道を作ってくれたから言えるわけ。ぐれるという形で自分を表現できるわけだから、言葉でも自分を表現できるわけよ。いいように言えば。それはダメなことだけど、でも自分もその類だから、人のこと言えんけど、でもそれも一つの表現方法として、髪の毛を染めることで自己表現するわけだから、言葉でも自己表現する術をもつとるわけよ。じゃあホンマに困る子ってどんな子かって言ったら、おとなしくて、休み時間も隅っこの方でおるような子っていうのが、一番あの授業に関しては関与してないと思う。だから途中でも言ったけど、今、人を刺しよる子ってどんな子？って。近所のインタビュー聞いてみて。おとなしくて親にも逆らったことがなくて、ごっつい真面目な子だったんですって。ほんなんばかりじゃん。いや昔から悪そでねっていう子は、なかにはおるけど、ほとんどおらんと思うよ。比率で言うたらな。それはなんでかって言うたら、殴られる痛みを知つとるじゃん。ぐれて、そっちの世界でおって、ケンカして殴られたら自分は痛いって。だから人は殴らんで、大人になって思うわけでしょ。中学校とか高校とかで、隅っこの方でおとなしく勉強ばかりして、親に右向けって言われたら、ハイって右向くような子が、人に殴られたことない子が、人の痛み分からんから、ブスって刺すんじやって。自己表現できんから、気にくわんでブスって刺すんじやわ。それが人権問題、人権侵害になってないのって言われたら、人権侵害よね。人の生きる道を自分が奪いよるわけやから。それも部落問題ではないかもしれんけど、一つの人権問題やと思う。だからその当時の教育が染みわたってないっていう結論になるわけよ。

(小学校からその年代年代に応じて自分が表現できるような授業みたいなものがずっと引き継がれていけば、もっともっと変わるとる可能性はあったっていうこと?)そう。一番大事な、人間が人間として生きていくうえでの、一番大切な教育は道徳でしょ。サインコサインができて、差別なんてなくならんわけよ。だから、その一番大切な科目である道徳、人権問題、そういうものにつなげていくために、コミュニケーション能力だったり、そういうのを養う何かの形をやって取り組めば、もっともっといいものになっと思ったと思うし。自分数学の先生やけど、じゃあ数学の授業思い出してよ。これ解けるやつ前に来て解いてみて言って、手挙げるやつおったで?(おった)ほれは真面目な子だろ。全体学習でも一番で先駆けでもの言えるような子でしょ。だから一緒なんよ。いつも先駆けになるのは同じタイプの子なんよ。わかる?それは得意不得意もあるよ。さっきも一番最初に言ったけど、全体学習で数学せんのは、できる子とできん子がおるけんでしょ。そういうのももちろんあるんだけど、でもなかには分かってせん子もおると思うよ。前に行き解いて間違えたらどうしよう。でも自分が表現して、相手が表現してきて、それをお互い分かり合える横のつながりってのが本当にできとったら、間違えても笑う奴なんて絶対おらんし。逆に、こうじゃよ、こうじゃよって、教え合いながら解くのもいいと思うよ。でもそれができんのはなんで?横のつながりができてないけんでしょ。全体学習にしても一緒よ。やらされよるし、先生にしてもそうと思う。やらされよるし、そういう風習だから仕方がないだあって。だからその当時の中学校の先生で、しゃべりが上手いと思った先生、ワイおらんよ。高校でスピーチの授業を受けた先生が一番今まででホンマに上手いと思った。考えさせられるものの言い方するし、スツて自分に取り込めるような伝え方をしようとする。だから生徒もそうだけど、先生も、そういうふうな意味では変わっていかんアカンと思うな。先生と生徒と一緒に変わらんと、授業なんて変わるわけがないんだから。だからそこをもっと変えてほしいなって、今思えば。自分は受けているんな経験をしてから思う。まず変わるべきは先生だったり、教育のやり方だったり。

だから何にしてもそうじゃない。モノになるというか、サッカーでも野球でも、何でもそうだと思うよ。サッカーでバルセロナ、今不調かもしれんけど、何であんなに強いん?小学校の時からそれ専用の施設で育てよるわけでしょ。やり方を徹底的に教え込んでるわけでしょ。だからあんなに強いわけでしょ。試合中しゃべれんでも阿吽の呼吸でパスが通るわけでしょ。結局一緒やで、小さ

いときから、小学校とか、そんな時から、自分の気持ちを言う、人に対して何かを伝えるっていう授業をやり込んでいっと思ったら、それが道徳だろうが数学だろうが、何だろうが、絶対言えるようになると思うし。それがモノになってくるわけだし。ほれが、高校になって大人になって、どんどん自分のいろんな周りが変わっていったときに、同時に自分があると。だから今の男は草食系って言われる。自分の意見を自分で言えんから。女はイラチやから、あーだすーだ言うでえ。全部そこに帰ってくると思うよ、ワイは。自分の意見言えたら、ワイバンバン言うもん誰に対しても。男だろうが女だろうがおかまだろうがバンバン言うもん。ワイほなけん、おかまの人に訊いたことあるよ。気になっと思ったんやけど訊いていい?おしっこなんしよんへ?って。切ったらどなんなるんへ?って訊いたよ。ほしたら、ほんだけ堂々と訊かれたら清々しいけん教えたいげのけどなって、教えてくれたけど。でも、そういうどうでもいいこともふくめて、道徳とかの一番重要なものであっても、それが例えどんなことであっても、何か起きた時に、自分はこう思っただけですけどどうなんですか?って訊けるし、自分が訊いとんやから、言われたことにすんなり吸収できる。訊いてないこと言われたら吸収せんだろ、人間て。別にそんなん訊いてないんやけどって思うやん。でも自分で訊いたこと、勉強でもそうやけど、先生この問題分からんのかやけどって、自分が訊いたことに対して先生が教えてくれたら聞くよ。ほなけど分つとる問題に対して先生が一生懸命解説してくれても、ほんなん分つとるして、聞かんよな。それと一緒にじゃない。だから、ここで、ここが先生分らんのかやけどって言えるように、もちろん授業の雰囲気もあるんだろうけど、個人個人を持っていくことによって、学力も上がれば全体学習もモノになってくるし、意見言い合えるし、何にでもそこにつながってくると思う。コミュニケーション能力っていう。だから、そういう意味では中学校の時にそういう経験をした、高専行ったのは板野からワイだけやったけど、その当時で言ったら。そこはごっついアドバンテージだったと思う。あのスピーチの授業になったときにね。ほのときに初めて気づいた。あの授業って、別に教科は何でもええんじゃ。じゃあ何で部落問題だったんだらうって考えたときに、明確な答えがないけんじゃって。どう思おうがこう思おうが、アカンものはアカンで分ってたらええわけで、数学の証明みたいにプロセスがいらんわけだから、それでこの授業はしよんかなって、自分のなかで思ったわけ。小さい小さい徳島の、田舎の、小学校だか中学校だかから始めていっても、全然いいと思うよ

ね。逆にそこを先駆けてやれよって、全体学習したから、部落問題にこんなに取り組んだからっていうのをアピールするんでなくて、そこをまず先駆けてやれよって。先生が変われよって。じゃあその当時の先生、差別って何なのって言われて、こうですってハッキリスピーチできる人おるかって。それって、明確な答えないでえ。差別って何なんて言われて。人それぞれ違うと思うよ。思うとすることはね。

でもそれやって、ワイは高知に人権の出張に行ったときに、高知の人に訊いたよ。すごい部落問題に熱心に取り組んだら、中学校の元校長だか何だかの先生に会うたときに、ワイは酒の席でやけどずっと気になっただから訊いた。先生、こんな場で悪いんやけど、差別って何ですか？何やと思いますか？自分がスピーチの授業だったりコミュニケーション能力持ってるつもりやったから訊けた。何やと思いますか。そのときにその人にハッキリ言われたよ。即答で言われたよ。自分自身だつて。そこで、そのコミュニケーション能力だったり、人の言葉を受け容れる能力がなかったら、自分なりに、自分自身でどういうつもりで言ったんか知らんけど、自分なりに理解することができんと思うんよね。自分自身で言われたときに、酔うとったけど、ハッてしたもん。自分が自分である以上絶対差別はなくならん。自分が他人を思えんと、絶対差別はなくならんよ。だから差別って自分自身だよって。部落だの、外人だの、ハンディキャップだのなんだの言うけど、それは自分が歩けるから歩けん人を、かわいそうやなって上から見るんだろって。自分がそういう人を見たときに、車椅子を押っしょう人を例えば見たときに、自然と後ろから押してあげれる。段差で困ったたら自然と助けてあげれるような、自分が急いどったとしてもね。待ち合わせに1時間も2時間も遅れてめっちゃ急いどつても、自分のことじゃなくて人のことを優先してできるような社会になれば絶対そんな差別なくなるよって言われたときに、あつ、なるほどなって思えたから、自分の中でその話って、今でも生きとる。自分自身なんだつて。それは、中学校の時に同和問題だったり、人権問題っていうのをすごい身近にやってきたから、板野は。熱心だったと思うよ。正直大人になって温度差を感じるくらい。だから相当熱心にやってきた学校やと思う。そこは自慢できるところやと思うけど。でも、そういうふうに先生の立場やって、ハッキリ生徒に対してスピーチできるんかって言われたら、たぶん、うーんてなると思うよ。だから、そういう意味で、やらされよんてしょって。先生も風習やから、やらされよんて思っしてよんてしょ。それを子どもは敏感に感じとって、こ

んなたっすいもんで思うわけよ。で、大人になってやつと気づく。それが、このワイやの世代やと思う。それがうやむやになってやってきとるから、何回も言うけど、人刺したじゃの、へちまじゃの。ほなって子どもでも分かること平気でするじゃん、最近の大人って。だからそういうのが全体的に見て行きわたってない。だから今までやってきた全体学習っていうのは、意味はゼロではないと思う。ゼロではないと思うけど、でも成果がマックス10あったら、3ぐらいで止まっとんじやないって思う。だから、ほういうふうに思っ言える人、今回のタイムラインで連絡があつたりとか、意見を聞かしてくれる人っていうのは、ものすごい少ないんじやないって思う。それがこの全体学習の本当の意味で受けとめとる人間の人数やと思うよ。それが今までの全体学習の成果やと思う。世界中の誰に訊いたって差別はダメですって言えるよ。でもそれって洗脳に近いところがあると思うよ。ハッキリ言っ。なんでって。明確な答えが分からんから。明確な答えを自分が持っないから、言えないから。ある意味洗脳やんね。これいいんじやないって言ったら、自分は社会からつまはじき者にされる。だからダメって表面上言うてたらいいんじやないの。(自分から気づかなアカンていうこと?)そういうこと。自分から気づくには自分で自分に問えないかんし、自分の意見も言えないかんし、他人の意見も受け止めれないかん。だからそういう意味では全体学習ってすごい大事だよ。でもそれは最終形態の話よ。そこで勉強するっていうのはね。まずクラス単位でそれができんとできるわけないし、学年でなんてできるわけないやん。クラスの重要性もそうやし、そういう教育の重要性っていうかな。それを小学校の時からやったら、少なくとも20人、20人、20人の3校が集まって60人になったとしようだ。でも20人の中でできとったら、3分の1は自分を理解してくれる人おるって思っ話ができるわけでしょ。それだけで全然違うと思うよ。じゃあその60人の中で、小学校のときに20人の中でしてなかつたら、59人自分の意見分ってくれんかもしれんて思うわけよ。そんな中で急に言えよって言われても、言えんてしょ。本当の自分の気持ち。だからワイ胸張って今言うよ。差別一生なくならんて。誰に対しても言うよ。絶対になくならんて。忘れ去られることはあつても、絶対になくならん。ワイ平気で言うよ。公務員だけ。逆に何でなくなると思うんですか？いやいや教育が教育が、いやそれ洗脳でしょって。本当の意味でなくなっないですよね。だから、部落問題で言ったかもしれんけど、インターネットの誹謗中傷出てきましたよ。こっち潰したら違う方から芽が出てきましたよ

ね。それ減っとなですか。減っとなって言えますか。そしてらそこでみんな黙るんよね。どの学校の先生と話しても。ほれで胸張って減んようって言えるんですか、先生って。じゃあ先生差別って何。人を傷つけんこと。ほれ差別なんですか。ほれただ自分が可愛いだけでしょ。自分が可愛いけん人のこと思えただけでしょ。それ差別の一言で済ますんですか。本当の差別って何ですか。じゃあ何なん。自分が自分であるためでしょ。先生自身がそこに気づけてないよね。土農工商あつての話を、歴史の部分として感じてる部分があるんじゃない。先生も含めて。水平社宣言、そういうのもあったね、1900何年にこうこうこうでこういう宣言もあったね。それ歴史じゃん、それ。じゃないでしょ。その根本をみんなが理解して取り組まんと、絶対なくならんし。だけん、ワイの同級生とかみんな言うよ。他の学校の子と話したらみんな言うよ。現に今の嫁さんも言うたよ。結婚するときに、ワイ被差別部落なんじゃって言うたときに、嫁さんから返ってきた言葉今でも覚えとるよ。うん、大丈夫、そういう学習受けとるから。それがすべてを物語っとなね。本当の意味で理解してないって。学習受けとるけん何んな。じゃあ学習受けてなかったらホンマの意味でお前は、差別っていうか、部落はこうこうこうじゃって言えんわけでしょ。そういう授業を受けたから。それが今の人権問題の全容やと思うよ。上辺だけ。洗脳に近い。だから、全体学習やっても思ったほどの効果は出ない。今振り返って自分はそう思っとなから、ワイはこうやって言うよ。嫁さんにも言ったよ。授業受けたけん何んな。数学は頭で理解するもんじゃ。社会は頭で覚えるもんじゃ。道徳は違うもんじゃ。感じるもんじゃ。感じるもんを授業受けたけん何んな。お前ほれ理解しとんか。お前どっかで思っとな違うんか。ほな部落問題は理解しとったとしても、最近外国人そこら辺歩きまわんよるけん、そんなはないかもしれんけど、ほな障がいをもつとな人見たらどない思っとな。大変やなって思っとな。うん。ほれ上からじゃよな。ワイ大変やなとか思わんよ。かわいそうって思わんよ。偽善って言われてもいい。何か自分にできることはないかなって思っとな。自分が何を差し置いてでも、親の葬式だっても、だって死んだ人よみがえらんのかやけん。ほれたったら今生きとる、一生懸命生きとる、ハンディキャップもつとな人の手助けしたいなと思っとな。困っとなたらな、ほの人。困っとなないのにやったら、ほれは押しつけになるから。押しましようか。何かこうこうましようか。僕で良かったらましようかって思っとな、言えるよ。まったく知らん人でも。スーパー行ってよう物取っとなあげるもん。

取れなさそうにしよったら。ちょっと待っとなけて言っとな、何欲しいん、何取りたいん。あ、ごめん、あれ取っとな、いいよ、全然いいよ。他に何かいるもんある？一緒に買い物するでって、何回も言うたよ。普通にその辺のスーパーで。ありがとう、いや、ありがとうって言われることではない。それが人が人である上で、人が社会で生きていく上で、当然のことではよって。それを大変やなあ、かわいそうやなあ、何かできることないでって。ほの時点でワイは差別やと思っとな。それを全体学習、今までの道徳は、ただの上辺だけのものだったんじゃないのって。自分には悪いけどね。

自分は気づけたけんハッキリ言える。だからそこをもつとな良くしてほしい。全体学習を通じてコミュニケーション能力を養うっとな意味も含めて、もつとなもつとな良くなる余地はあると思っとな。逆にのびしろしかないと思っとなから。しょうもない授業をせんでも、のびしろはあるから、もつとなもつとなやってほしいなって思っとな。ただそれも押しつけになったらアカンと思っとな。だからその重要があったなって今は思っとな。だから感謝はしとる。全体学習に関しても道徳に関しても、自分の意見を言えるそのスピーチの授業であつたり何にしてもやけど。だから中3のときに合宿のときに言ったでしょ。覚えとるか覚えてないか知らんけど、ワイはあの場でハッキリ言っとなよ。部落に生まれてきて良かったって。そこまで胸張って言える人間おりますか。今まで何人おりましたかっていう話よ。じゃあなんでって訊かれたときにワイは言えるよ。言うたよ、あのおときも。部落でない人間っていうのは、人を差別することは知っとなつても、差別される苦しみは知らん。でもワイは両方分っとな。だからワイは良かったって。人に対して優しくできるから良かったって思えるよ。だって、何も変わらんじゃん。手切ったら赤い血出るもん。指5本だもん、目2つだもん。何も変わらんもん。別にそこに縛られる必要もないし縛られるつもりもないから自分は。じゃあ同じ人間だつたら、差別される痛みを知って、人に優しくできる自分が良かったなって心から思えるわけ。思えたけんそういう言葉が出るわけよ。頭で理解して差別はダメですね。人を傷つけるのはダメですね。ほんなんアホでも言えるよ。九官鳥でも言えるんよ、教えたらな。ていうのが、ワイの10数年前の人権問題学習だつたり、全体学習で学んだことで、今後こうしたらいいんじゃないって、悪かったところやね。今やからこそ思えるし、今やからこそ言えること。その当時なんか言えるような雰囲気ではなかつたし、だからそれ押しつけなんよ。それも悪いって言えん環境で、授業してた。それも学校の責任でもあると思っとなし、国の提唱

する教育のやり方の間違いでもあると思う。ほれは生徒には責任ないと思うよ。だって、やらされよるだけだから。北朝鮮みたいなものじゃよ。そこで授業受けんやつは人間のくずじゃぐらいのレベルだったんよ。あの雰囲気って、正直な話。だからそれも、正直なところ耳の痛いところあるんじゃない。押しつけとったんじゃないんかなって、ハッキリ言って。じゃあ差別に関して、もの言える人間何人おったんかいなって。あの授業に関して、心から取り組もうと思うとった先生が何人おったんかって言ったら、胸張って言えんところあるんじゃないのと思うよワイはな。ほれがまとめてきた自分の思いか。それが合うとる間違えとるは別として。

#### 《 中 断 》

先生と生徒がお互い心通わせるためには、普段の宿題でしよる日記、日記やって、義務になったらいかん、仕事になったらいかんと思うんよ。だから、ワイが中3のときに吉成とやった交換日記、正直気持ち悪かったけど。吉成は書くことによって文章能力がつくみたいない感じで、その当時ワイに言ったと思うわ。今でも覚えとるけど。でも、そうじゃないと思うんよ。確かにそれもあるよ。漢字も覚えるし、文章能力もつくだろうけど、でもホンマの意味は、さっきの全体学習の話ではないけど、表面上はそうかもしれん。でもホンマの意味って、心通わすためって思う。そこが一番重要なんやと思う。だから中3のときに、他の先生に言えんことでも、吉成には言えた。なんか。それをやって通わせとるこってというのが、他の先生に対してよりも、ワイは吉成に対しての方がでかかったから。通わせとる気持ちの大きさっていうんかな。っていうのがあったから、何でも言えたよ。だからその当時吉成やって、他の生徒の前で言えんことまでワイに言うたこともあったと思うよ。あのノートの中でね。今でも覚えとるよ。職員室で、お前が髪の毛染めてくるっていう噂が出とる。ほんなん生徒の前で言えるかっていうんよ。まあ吉成だったら言うとるかもしれんけど。ほれだったらワイは卒業式ボイコットするぞって言うてきたよな。ほれも一対一やけん言えたことやと思うんよ。心通わしとるけん言えたことやと思うんよ。ただほのセリフっていうんは、一人の教師として、卒業式ぐらいちゃんとして来いよ、最後やからちゃんとして来いよっていう気持ちもあったんかもしれんし、生徒とか親子とか、お前そういう話でとるけど、それだけはやめよっていう吉成でしか言えんような口調での注意の仕方だったんかもしれん。その交換ノート上ではね。でも、ワイはその時の吉成に対しての気持ちよりも、その当時の担任に対して腹立っと思ったことの方が大きかつ

たから、ワイはやった。先生に追え回されてつかみ合いになったけど。当日に。ほなけど、ワイはやった。で、吉成はほのときボイコットした。ほんまにやった。良い悪い別なんよ。良い悪いはどうでもいいんやけど。だから、それがあったから、今こうやっておれると思う。だからあの当時やったこと、ワイは後悔してないよ。髪染めて先生と大げんかしておどれすどれ言うたんは後悔してない。その先生に対して不満もとったから。でも、ボイコットさせたことに関しては、申し訳ないなって、今は思っとる。ほなけん、そういう普段の日記っていうか、そういうんて、そのためにあるんやと思うよ。だから、今日あったことをつらつらと書くんじゃないって、そういう悩み相談であつたり、何か数ヶ月前にあったじゃん、生徒がSOSを出しとんのに、先生がわけの分からんコメントして飛び降りだか飛び込みだか知らんけどやったっていう件。そういうことやと思うよ。先生もそこに目を背けたわけやん。絶対気づくと思うよ、あんだけ日記に書いとったら。辛いじゃ消えたいじゃへちまじゃ書いとんのに。全然関係ないこと書いとったで。ニュース見たけど。そういうふうに書いてきてくれる子はいいけど、書けん子やっておるわけでしょ。そこに書けるし、きちんと向き合ってコメントできる関係っていうのを、一対一でつくれんと、学級担任なんてする資格はないと思う。ほれで、全体学習しても上辺しかできんていうこと。だから、先生と生徒じゃなくて、人と人にならんと意味がないと思う。